

平成 28 年度全国学力・学習状況調査の分析および考察についてのお知らせ

師走の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

さて、4月に実施されました全国学力・学習状況調査の結果より、成果と課題を分析したものをもとに、今後の教育活動についてお知らせします。

◇本校の課題と考えられる事項◇

※全国平均のポイントより ○優れている項目 ●やや低い項目

国 語

○基礎知識を問う A 問題から

- 学年別漢字配当表に示されている漢字や平仮名で表記されたものをローマ字で正しく書く。
- 目的や意図に応じて、収集した情報を関係付けながら話し合う。
- その学年で覚えることになっている漢字を正しく読む。
- 書き手の表現の仕方をよりよくするために助言する。

○活用力を問う B 問題から

- 質問の意図を捉える。
- 目的に応じて、質問したいことを整理する。
- 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読む。

算 数

○基礎知識を問う A 問題から

- 繰り下がりのある減法の計算をすることができる。
- 数の大小関係を理解している。
- 図形の構成要素に着目して、図形を構成することができる。
- わる数とわられる数に同じ数をかけても商は変わらないことを理解している。
- 小数の除法の計算をすることができる。
- 直方体における面と面の位置関係を理解している。

○活用力を問う B 問題から

- 正方形の内接する円の半径について理解している。
- 単位量当たりの大きさを求めるために、他に必要な情報を判断し、特定することができる。
- 示された式に数値を当てはめて、目標のタイムを求めることができる。
- 示された条件を基にほかの正方形について検討し、同じきまりが成り立つかを調べることができる。

質問紙調査（学習や生活環境のアンケート）

※全国平均のポイントより ○優れている項目 ●やや低い項目

- 朝食を毎日食べている。
- 国語や算数の勉強は好きですという児童が多い。
- 学校で友達に会うのは楽しいと思う。
- 家の人と学校での出来事をについて話したり、家の手伝いをしたりする児童の割合が高い。
- 難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦するという児童は約 80%あり、がんばろうという気持ちがある。
- 意見発表する時、うまく伝えられるように話の組み立てを工夫している。
- 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した。
- 新聞を読んだり、テレビのニュース番組、インターネットのニュースを見たりする。
- 自分には、よいところがあると思う。

以上の事項を踏まえた考察

- ・基礎的・基本的な知識や技能の確実な定着をめざして、授業を丁寧に進め、見届けや励ましを行ってきたことで、国語や算数の勉強は好きという児童が多く、興味関心をもって授業に取り組んでいる。
- ・家庭でのコミュニケーションがあり、生活習慣が安定していることが、子どもの学習への意欲や挑戦しようとする気持ちにつながっている。
- ・じっくり長い文章を読んで考えたり、学年相応の本に親しんだりする児童が少なく、何が書かれているのか考えながら長い文章を読んだり、自分の考えを書いたりする力が弱い。
- ・筋道立てて粘り強く考えようとする意欲に欠ける子どもがいる。
- ・めあてをもって行事などに向かって仲間と協力することを大切にしてきたことで、仲間と共に活動したり生活したりすることを楽しいと感じている。
- ・教師が褒めたり、学級でよさやがんばりを認め合ったりしていることが、一人一人の子どもが自分のよさに気付くことにつながっている。
- ・さらによりよい自分にしていこうとする向上心を育てていくとともに、一人一人のよさを認め褒めて、自己肯定感を高めるようにしたい。

◇学校として力を入れたいこと

- ・基礎的・基本的な知識・技能の習得のため、授業の終末段階での習熟（練習問題に取り組む）や学び直し（間違いを直したり再テストを行ったりする）の時間を確保する。
- ・各学年の推薦図書10冊を読み切る。
- ・考えの過程を大切に丁寧なノートづくりをして、自分の考えや思いを詳しく書いている子を認め、そのよさを広める。
- ・ペア交流や、話し合い活動を授業に位置づけ、仲間に自分の考えを伝える機会を増やす。
- ・家庭学習の内容の見直し（プリントやテキストの活用、日記、既習学習の復習など）をする。
- ・時事ニュースについて、短学活や関係する教科で話題に取り上げて、児童に関心を持たせる。
- ・一人一人の力が発揮できる場をつくり、それぞれの場で自分の力を発揮し、認め合うことができるようにする。
- ・異年齢集団での活動を大切に、互いに思いやる心を養う。

◇家庭で大切にしていきたいこと

- ・「早寝、早起き、朝ご飯、朝うんち」の基本的な生活習慣づくり、テレビやゲーム等に関わる家族の約束をつくる。
- ・学習時間の確保と学習の見届け（ノートの点検、励ましの声かけ、家庭学習のポスターや家庭学習パワーアップ習慣の励ましなど）をする。
- ・コミュニケーションや読書の時間（会話、ふれあい、親子読書、町図書館の利用など）を確保する。
- ・学習面・生活面ともに、やりきったこと、乗り越えたことなど成功体験を積み重ね、楽しみや自信につなげる。
- ・テレビや新聞で話題になっていることを取り上げて、家族で話し合う。